

遠野スタイル創造・発展総合戦略のK P Iの実績について (平成30年度)

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ		
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発 型・外発型商工業の振興	1	創業支援件数	件	7	目標数値	5	5	5	5	6	160.0	達成	遠野市創業支援計画に基づき、遠野市と遠野商工会が連携して遠野市創業塾の開講など創業支援に取り組んだことにより、平成30年度は8件の新規創業を支援した。	商工労働課	47		
					実績値	12	6	8	8								
	2	新規学卒者雇用数	人	71	目標数値	74	77	80	83	86	48.2	未達成		高校生就職支援関係機関情報交換会、新規高等学校卒業者職業紹介業務連絡会議や、とおの就職ガイダンス、企業見学会、インターンシップの開催など、高等学校、公共職業安定所、県、市が連携した取組を行い、就職希望者の就職率100%を達成した。 しかしながら例年と比較し、県内内陸部の大企業等への就職者が増えたことが影響し、市内での新規学卒者雇用数は目標数値と比較し、大幅に下回る結果となり、未達成となった。 今後は、新たな事業として、市外の短期大学や専門学校等での（仮称）出前就職ガイダンスの開催や、31年4月にスタートした奨学金返還支援補助金を活用し、高校卒業後に一旦市外の学校に進学した生徒等に対して、遠野市内の企業の魅力のPRを図りながら、新規学卒者の雇用数の増につなげていく。	商工労働課	47	
					実績値	77	64	60	40								
	3	企業の新設・増設件数	件	1	目標数値	1	1	1	1	1	1000.0	達成			情報関連の事業所が1社立地したほか、市内企業9社の新たな設備投資に対し税制支援措置を講じた。	商工労働課	47
					実績値	2	1	5	10								
【重点プロジェクト2】 多様な農林畜産業の6次 産業化と新たな仕事の創 出	4	45歳未満の認定新規就農者	人	1	目標数値	5	5	5	5	5	40.0	未達成	(新規就農者が自らの就農・農業経営に関する計画を認定する制度により認定新規就農者となった人数。) 関係機関が協力し、新規就農希望者に向け栽培説明会等を開催したが、結果的には、目標を達成することができなかった。 今後は、新規就農者へのサポート体制を充実させ、個々の経営目標の達成のためきめ細かな支援を行う。			畜産園芸課	54
					実績値	6	8	7	2								
	5	重点野菜出荷額	億円	1.3	目標数値	1.3	1.4	1.7	2.0	2.3	95.0	未達成		(重点品目として位置付けるほうれんそう、ニラ、ピーマン、アスパラガスの出荷額。) 販売価格が高単価で推移したため、前年実績を上回る結果となったが、一部の品目で出荷量が低下したため未達成となった。 今後は、安定生産を目指し、生産意欲拡大と作付面積の維持に向けアスト加速化事業の周知はかり、関係機関と連携し、きめ細やかな支援を実施し、栽培面積の確保と安定した出荷を目指し、産地としての支援を継続する。		畜産園芸課	54
					実績値	2.2	1.4	1.4	1.9								
	6	農産物直売所売上額	億円	5.5	目標数値	5.6	5.6	5.7	5.8	5.9	101.7	達成			【まちづくり指標No.67と同様】 産直連絡協議会が中心となったリーフレットの更新や、定期的な情報交換会の開催によって、各産直の活性化に取り組んだ結果、目標を上回ることができた。 各直売所において販売スペースをはじめ環境整備や誘客イベント等について趣向を凝らし取り組んだことにより、販売額を維持することができた。 東北横断自動車道釜石秋田線の全線開通により、売上が減少に転じることも予想されるため、遠野市産直連絡協議会の取組を通じて、直売所個々の改善の実践研修に取り組む。	畜産園芸課	55
					実績値	6.2	6.1	5.9	5.9								
7	6次産業化関連効果額	億円	16.5	目標数値	16.9	17.0	17.2	17.3	17.4	105.2	達成	【まちづくり指標No.68と同様】 地域再生推進法人の指定を受けている遠野ふるさと公社をコーディネーターとして配置し、市内事業者とともに商談会、物産展への出展など、国内の販路拡大に努めた。 海外への販路開拓においては、地方創生推進交付金実施計画（とおのもの・こころ海外経済交流プロジェクト）として、台湾の裕毛屋企業股份有限公司において遠野物産展開催やアメリカ食品スーパーと連携した商談、販売会を開催し六次産業関連効果額が増加した。 [六次産業関連効果額] ・製造品出荷額（食料品） 4.0億円（ただし、H30公表前のため推計値） ・加工品出荷額 1.9億円 ・特産品販売額 6.3億円 ・農産物直売所売上額 6.0億円 （合計） 18.2億円（ただし、一部公表前の数値を含むため推計値）	商工労働課 六次産業室			55	
				実績値	16.9	17.1	17.4	18.2									

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ				
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	8	定住者世帯数	世帯	61	目標数値	70	85	100	120	140	81.7	未達成	【まちづくり指標No.92と同様】 平成30年度の移住・定住に向けた相談件数は延べ35件（29人）で、うち6世帯11人が移住・定住した。 首都圏での移住相談会への参加や県南広域振興局、県南地域他市町と連携した移住者向けセミナーを実施し、「移住・定住ワンストップ窓口」として関係機関と情報共有しながら対応することで、相談件数は増加したが、依然、移住・定住希望者向けの空き家の確保が課題である。 今後も、リフォーム事業助成金の利用促進、市内の不動産業者との連携を進めて物件確保のうえ、遠野の魅力をもっとPRし、更なる定住促進を図っていく。	観光交流課	63				
					実績値	74	83	92	98										
	9	道の駅を含む主要観光施設観光客数（外国人観光客）	万人 (外国人：人)	184 (1,208)	目標数値	184 (1,500)	185 (1,500)	186 (1,800)	187 (2,100)	188 (3,000)	91.4 (134.8)	未達成		【まちづくり指標No. 87、90と同様】 観光推進協議会の発足により、市内の観光関係機関・団体の活動が点から面の活動へ変わりつつあり、特に観光キャラバン、セールス活動については、団体間の連携と、戦略を持った取組みに意識が向けられている。 平成30年度は「道の駅遠野風の丘 創業20周年」の取組みや、国道340号立丸峠トンネルの完成、東北横断道釜石秋田線的全線開通など観光推進協議会が年間を通じてイベントを実施したことから、観光入込者数が増加した。 今後は、ラグビーワールドカップ2019釜石大会への対応や、東京2020オリンピック・パラリンピックのホストタウンとして、本市を訪れる外国人は今後も増加する見込みであるため、受入環境の整備を促進させるとともに、市の総合計画に基づく事業の推進を図りながら、観光推進協議会が取り組む事業の進行管理を行い、観光推進協議会と一体となって、観光客入込数増加に向けた取組を促進していく。	観光交流課	63			
					実績値	181 (1,542)	163 (2,334)	156 (3,368)	171 (2,832)										
	10	観光者宿泊数（民泊者数再掲）	千人 (民泊者数：人)	87 (1,055)	目標数値	76 (1,100)	79 (1,125)	81 (1,150)	83 (1,175)	85 (1,200)	85.5 (84.7)	未達成			【まちづくり指標No. 89と同様】 観光推進協議会の発足により、市内の観光関係機関・団体の活動が点から面への活動へ変わりつつあり、特に観光キャラバン、セールス活動については、団体間の連携と、戦略を持った取組みの重要性に意識が向けられてきている。 平成30年度は「道の駅遠野風の丘 創業20周年」の取組みをはじめとして、国道340号立丸峠トンネルの完成、東北横断自動車道釜石秋田線的全線開通など、年間を通じてイベントを実施したこともあり、特に旅館の入込が前年度より114%の伸びとなったが、事業者の事情により、事業を休止及び廃止した業者もあったことから、全体的に伸び止まりとなり、目標に達することができなかった。 今後は、総合計画に基づく事業の推進を図りながら、観光推進協議会が取り組む事業の進行管理を行い、観光推進協議会と一体となって宿泊者数増加に向けた取組を促進していく。	観光交流課	64		
					実績値	85 (1,280)	77 (1,773)	67 (1,361)	71 (996)										
	11	地域間交流者等受入数	人	681	目標数値	700	700	700	700	700	123.0	達成				【まちづくり指標No. 45と同様】 「子育て応援宣言のまち推進事業」として、新たにわらすっこ条例応援事業所を11カ所認定したほか、市内で開催されるイベント等に乳幼児のおむつ交換台や授乳を行うためのスペースとして、「移動式赤ちゃんの駅」を貸し出しするなど地域や事業所ぐるみで子育てを応援する環境の充実を図った。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.21下回っているが、昨年度と同様の数値を維持しており、子育て世代を応援する環境の充実を図った施策の成果といえる。 今後は、「子育てするなら遠野」として、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを推進するとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を実施し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに展開していく。	観光交流課	64	
					実績値	961	1,802	1,264	861										
	12	合計特殊出生率	人	1.90	目標数値	1.90 (H26実績)	1.90 (H27実績)	1.92 (H28実績)	1.92 (H29実績)	1.94 (H30実績)	89.1	未達成					【まちづくり指標No. 45と同様】 「子育て応援宣言のまち推進事業」として、新たにわらすっこ条例応援事業所を11カ所認定したほか、市内で開催されるイベント等に乳幼児のおむつ交換台や授乳を行うためのスペースとして、「移動式赤ちゃんの駅」を貸し出しするなど地域や事業所ぐるみで子育てを応援する環境の充実を図った。 指標である合計特殊出生率については、目標数値と比較して0.21下回っているが、昨年度と同様の数値を維持しており、子育て世代を応援する環境の充実を図った施策の成果といえる。 今後は、「子育てするなら遠野」として、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを推進するとともに、少子化対策の一環として「とおのスタイル結婚応援事業」を実施し、男女の出会いから結婚、妊娠、出産、子育てと切れ目のない支援をさらに展開していく。	こども政策課	71
					実績値	1.93	1.64	1.71	1.71										

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
	13	児童館・児童クラブ年間 延人数	人	136,911	目標数値	136,250	137,900	138,400	138,950	139,450	94.8	未達成	【まちづくり指標No.48と同様】 平成30年度の延べ利用者数は、目標数値に対して7,156人下回る結果であった。 児童館及び児童クラブの活動内容の充実化によって利用者数の増加を図るため、補助金を交付したものの、児童数の減少や放課後の過ごし方の多様化により、利用数が減少したものと考えられる。 今後も、児童の健全育成の場、子どもの居場所として、活動内容の充実や児童館施設の計画的な整備を図り、利用者のニーズに沿った管理運営に努めていく。	こども政策課	71
					実績値	140,709	135,305	132,123	131,794						
	14	わらすっこ割合	%	14.02	目標数値	14.02	14.02	14.02	14.02	14.02	95.2	未達成	【まちづくり指標No.47と同様】 遠野わらすっこプラン推進事業として、様々な新規事業に取り組んできたところであるが、さらに、放課後デイサービス事業、特別支援学校送迎バス運行など、療育に関する支援にも力を入れたことにより、子育て世代が安心して働くことのできる環境の充実が図られた。 指標であるわらすっこ割合（年度末における、18歳以下の人口の割合）については、目標値と比較して0.67%下回ったが、地域や事業所ぐるみで子育て世代を応援する環境を充実させたことにより、出生数は2年連続で増加している。 今後も、「子育てするなら遠野」の第2ステージとして、地域や事業所を巻き込みながら、市民協働による子育てを応援するまちづくりを目指して施策を展開していく。	こども政策課	71
					実績値	13.86	13.71	13.52	13.35						
【重点プロジェクト5】 高齢者の自立と社会参加 の促進	15	ICT健康づくり事業 参加者数	人	462	目標数値	500	550	600	620	640	168.1	達成	事業参加者の内、80%が国の推奨歩数未満いわゆる「運動不十分層」であり、身体活動の増加が必要とされる方々を対象とした事業を実施することができている。年間の継続率も88%を維持し、長期継続者の27ヶ月以上の継続率も90%と高かった。 また、市内事業所の参加を促進し、累計で5事業所（331人）の参加となるなど、全体加入者の28%となった。ただ、歩数分析から比較的若い世代の多い事業所参加者の歩数増加が少なく行動変容が少ないことから事業所向け出張測定会や健康教室を行うなど歩数目標の意識付けが必要である。 健幸ポイント事業の3カ年の実証結果から、事業参加者と非参加者の年間の医療費は、一人当たり7.8万円の抑制効果を示すことができ、健康づくりの取組の見える化が図られた。	医療連携室	78
					実績値	471	718	972	1042						
	16	特定健康診査受診率	%	50.2	目標数値	60	60	60	60	60	83.0	未達成	【まちづくり指標No.28と同様】 自覚症状がなく多忙である就労世代や定期的にかかりつけ医へ通院している者の受診率が低く、達成には至らなかった。 しかし、県内でも同様の状況にある中、一昨年、昨年と比較し受診率は微増しており、県内14市の中では1番目、33市町村では7番目に高かった。 受診者拡大に向け、法定の検査項目へ市独自の項目を追加し、また、健診結果票をわかりやすくするなど、健診の充実及び受診者の満足度の向上に努めた。併せて、健診の土曜・日曜・夕方及び冬期の追加日程を実施し、人間ドックを受診した国保被保険者へは助成額の上乗せを行うなど受診環境の整備を図っている。 引き続き受診率向上に向け、第2次遠野市国保データヘルス計画に基づき、市医師会や商業組合、関係団体等との連携を推進していく。 また、国保担当課と連携を図り、被保険者に対し雇用者保険から市町村国保への移行時などの機会を捉え制度理解の推進と受診勧奨を進めていく。	健康長寿課	78
					実績値	47.6	49.4	49.6	49.8						
	17	シルバー人材センター受 託事業の就業延べ人数	人日	15,045	目標数値	16,500	17,000	17,500	18,000	18,000	72.7	未達成	【まちづくり指標No.36と同様】 平成30年度は、前年度に比べ8人多い32人が入会したが、加齢による体力低下等で42人が退会となり、合計会員数は10人減の207人となった。そのため、就業延べ人員においても前年度に比べ728人日の減少となり、目標達成には至らなかった。 目標値には達しなかったが、家庭等の軽易な修繕や一般作業、市としても軽度生活援助事業など地域に密着した就業機会の提供を行い、就業率100%と高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図った。 また、県内初となる厚生労働省の高齢者就労施策モデル事業により創設された「遠野市生涯現役いきいき促進協議会」と連携を図り、高齢者がセンター事業に参画するよう推進した。 今後も、働く意欲のある高齢者を会員として取り込むとともに、新規受託事業の拡大に向け取り組んでいく。	健康長寿課	78
					実績値	13,921	14,540	13,812	13,084						
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる “しあわせ度”の向上	18	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への 参加者)	HP (ひとパ ワー)	52,144	目標数値	53,000	54,000	55,000	56,000	58,000	96.4	未達成	遠野市のひとパワーの測定は、以下の10事業の参加者である。 昨年度より上回った項目は同数を含めて7項目、下回った項目は3項目である。 目標数値より下回った主な要因としては、市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者の減であり、昨年度より約1,300人下回った。今後は、関係機関・関係団体と連携し芸術文化のさらなる振興を図る。		83
					実績値	49,615	51,244	53,616	53,992						

プロジェクト名	番号	内容	単位	現状 (26年度)	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	達成率	達成状況	成果・評価	担当課	総合戦略 掲載ページ
	18-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	9,500	実績値	10,000	9,400	10,000	10,000				両日ともに天候に恵まれ、入込が多かった昨年度と同様の参加者数となった。屋外イベントのため、参加者数については天候に左右される部分もあるが、遠野まつりファンを少しでも増やすため、体感し、魅せる遠野まつりの環境づくりが必要である。	観光交流課	
	18-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	11,563	実績値	6,702	9,580	9,691	8,328				【まちづくり指標No.107.108と同様】 平成30年度の参加者数は1,399人、鑑賞者数は6,929人、合計は8,328人と昨年度には及ばなかったが、様々な機会を提供することで、芸術文化の振興を図ることができた。 今後は、より一層関係機関・団体と連携しながら、子ども達を対象にした芸術文化事業を企画し、長期的に芸術文化事業に携わることができるように取り組んでいく。また、多くの市民が文化芸術に触れる貴重な機会として、対象を明確にした自主事業を開催する等、工夫しながら、鑑賞者が満足できるような自主事業の企画・立案に努めていく。	生涯学習スポーツ課	
	18-3	遠野こだわりの「語り部」認定数	人	710	実績値	792	837	878	932				【まちづくり指標No.121と同様】 認定者数の拡大のため、認定に向けたスクーリングを6回開催した結果、平成30年度は子ども語り部41人、歴史1人、食2人、郷土芸能9人、生業1人の合計54人を認定し、目標を達成することができた。 特に、子ども語り部については、学校との連携を図りながら取り組むことができた。このほか、郷土芸能の語り部の研修の機会として「町家で楽しむ女子神楽」を開催し、研修の機会と場を提供するとともに、中心市街地活性化に寄与した。 今後も、学校や地域団体などと連携しながら語り部の認定を行い、研修の機会と場を提供しながら、遠野の「語り」の文化を次代に継承していく。	文化研究センター	
	18-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	1,654	実績値	1,909	1,977	2,323	3,717				【まちづくり指標No.126と同様】 「地区まちづくり一括交付型モデル事業」を全11地区で取り組んだことに伴い、新たな参画者が加わり目標を達成することができた。また、平成30年度は新たに3地区で「地区まちづくり計画」が策定され、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識が醸成された。 今後も、地域課題解決に向け地域住民の意見要望等を取り入れつつ新たな取組が進められるよう、参画者の拡大に取り組んでいく。	市民協働課	
	18-5	環境整備事業（市内一斉河川清掃・花いっぱい運動）参加数	人	12,044	実績値	11,792	11,781	11,425	10,688				市内一斉河川清掃は、【まちづくり指標No.123と同様】 花いっぱい運動の参加者は、平成29年度と比較すると410人減少し、4,091人となった。参加困難な高齢者が増加している中、各地区において保育園や小学校等と連携して、児童等を含めた事業展開を行っていることから、今後も活動を継続し、事業の拡大を図っていく。	環境課 市民協働課	84
	18-6	元気楽らく高齢者体力アッププログラム等健康づくり教室参加者	人	6,248	実績値	5,647	5,488	5,319	4,968				要支援や要介護の状態になる可能性の高い高齢者を対象に、介護予防のための効果的な筋力トレーニング及びバランス訓練を行う教室を開催した。 参加者からは、教室参加の効果を実感している声が多数聞かれた。仲間づくりが図られ、参加者は楽しみながら参加している。 また、健康づくりサポーターや地区センター、市内関係機関と連携のもと、脳卒中などの疾病予防、運動普及などの健康増進等に関する健康教育を実施し、健康づくりに関する知識の普及に努めた。	健康長寿課	
	18-7	認知症サポーター登録者数	人	2,262	実績値	2,488	2,864	3,082	3,272				平成30年度は、地域住民や施設職員、児童、生徒等を対象に養成講座を開催し、認知症についての正しい理解と「認知症の方を地域で支えていく」という意識の高揚が図られた。 年々、認知症への関心が高まっており、認知症サポーター養成講座には、小学生から高齢の方まで幅広い年齢層の方が受講し、認知症を正しく理解することで、認知症の方やその家族への支援につながった。 今後も、各種団体や学校等に対して継続した働き掛けをしサポーターの養成につなげていくほか、地域での活動につなげるための仕組みづくりを検討していく。	健康長寿課	
	18-8	S L 停車場プロジェクト「お出迎え隊」延べ参加者数	人	1,629	実績値	1,601	955	1,359	1,483				遠野市S L 停車場プロジェクト推進委員会の構成団体や、郷土芸能団体、座敷わらし隊で構成したメンバーによって、S L 銀河運行日にお出迎えやイベント等を全ての運行日（62日）実施した。 特に、座敷わらし隊でのお出迎えが喜ばれており、訪日外国人観光客やカメラマンなど多くの観光客に対してお出迎え対応した。今後は観光推進協議会が主体となって、「オール遠野」での対応を行っていく。	観光交流課	
	18-9	町民運動会参加者数	人	5,000	実績値	5,760	5,113	3,981	4,498				悪天候による中止や隔年開催地区があることなどにより参加者数は安定していないが、参集率は平均で20%を割り込んでいる。 健康づくりやスポーツ振興のほか、地域住民の交流の機会として、今後も各町の取組みに支援する。	生涯学習スポーツ課	
	18-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	1,534	実績値	2,924	3,249	5,558	6,106				（一社）遠野みらい創りカレッジが企画するプログラムのみならず、市内団体等が遠野みらい創りカレッジを会場としたイベントを企画・開催する等、多様な参加機会を提供できたことで多くの参加者に遠野みらい創りカレッジを利用してもらったことができた。	生涯学習スポーツ課	